

カナダ  
羽毛協会

# 「カナダ稀少羽毛」提案

## 製品はシリアル管理

### ふとんの新選択基準発表

カナダ羽毛協会(マイケル・テラブレース会長)と日本支部(稲木直支部長)は、4月19日、東京・赤坂のカナダ大使館で、「カナダ稀少羽毛」のレセプションを開催した。同協会は、カナダ政府関係機関と連携し、日本の産・官・学協同の新たな仕組みを構築し、明確な保証体制のもと、公正に日本の消費者に高品質で稀少性の高い「カナダ稀少羽毛」を提案。これを使用し、ふとんの新しい選択基準「コンフォート・インデックス」による、個人々に合った「イーシード・羽毛ふとん」を開発、10年秋冬から寝装品市場に提案していく。

カナダ羽毛協会は、稀少性が高い(09年1~12月のカナダから日本への輸出货量は3871キログラム)「カナダ稀少

羽毛」の品質と価値観を共有(理解)している日本の製販各社との協業で、従来

のふとんの選択基準にはなかった、新しい選択基準「Comfort index (コンフォート・インデックス)」による、消費者

一人ひとりに合った羽毛ふとんを提供する「イーシード・システム」を提案する。稀少性が高い「カナダ稀少羽毛」とは、「カナディア

ン・コロニアルダウン」「カナディアン・アイダーダウン」「カナディアン・アークティックダウン」で、日本で産・官・学協同で一元管理(製品には同協会が発行した単位重量当たりの温かさの係数(WWR)値)大きいほどふとんが軽いという

「カナダ稀少羽毛クラブ」では、購入者にIDナンバー入りのメンバーシップカードを発行し、「エコチェック」の情報を発信。購入3年目と5年目に「クリーニング」、10年目に「打ち直し」を勧めるなど、アフターケアにも万全の体制を敷いていく方針。



カナダ羽毛協会が提案する「カナダ稀少羽毛」を使用した「イーシード・羽毛ふとん」(上)。レセプションには約80人の業界関係者が出席し、関心の高さを浮き彫りにした(内内はマイケル・テラブレース会長(右)と稲木直日本支部長)

この一環として、カナダ羽毛生産者、日本のサプライヤー・ふとんメーカー、販売者らで、「カナダ稀少

毛クラブ」を立ち上げ、垂直型マーケティング(調達・生産・品質・販売・物流)により、「カナダ稀少羽毛」とその製品を、日本市場に安定供給していく体制を早期に確立する。

特に、「目玉」となる「コンフォート・インデックス」は、(財)科学技術振興会(亀田光昭理事長)の協力を得て開発されたシステム。同振興会の快適・寝室環境研究所が、過去8年間、恒温・恒湿実験室での研究を重ね、寝床内温度33度±1度を保持する保温性能t(0.9値)測定システムを確立。寝室温度20度~5度までの11段階で、t(0.9値)9の保温性能を設定。t(0.9値)が高いほど保温性能も高い。併せて、ふとんの重量とサイズにより導き出した単位重量当たりの温かさの係数(WWR)値)大きいほどふとんが軽いという

性能を設計することにより、自分に合ったふとんが選べるようになった。イーシード・システムは、小売店頭でパソコンを使って、来店客に住宅構造や寝室の広さ、窓の大きさなど、8項目からなる「寝室環境アンケート」を行う。この結果と全国の外気温5年間のデータや全国100カ所の住環境の異なる寝室温度の4年間のデータからt(0.9値)を算出し、各顧客の部屋に合った軽くて温かい羽毛掛けふとんを提案する。